



職員室だより

富津市立竹岡保育所
2025.3.6発行

早いもので、今年度も残すところあと 1 か月です。年が明けてからの竹岡保育所は、いつも以上にいろいろな出来事があり、今回の職員室だよりもボリュームたっぷりです。毎回、ボリュームたっぷりとなってしまう申し訳ないのですが、地域の方から「楽しみにしてるよ」「保育所の様子がよくわかるよ」と励ましのお言葉を頂くことが増え、有り難い限りです。これからもたくさんの方に、保育所の様子をお伝えしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



【1月】

10日に、金谷の“ピッツァ ゴンゾー”さんで、中央保育所のお友達と一緒にピザ作り体験をしてきました。ピザ生地を広げ、具材を自分でトッピングし、ピザ窯で焼くのですが、ご主人と奥様がとても優しく丁寧に教えて下さり、子ども達は張り切って作っていました。ご主人のピザ生地を回しながら広げていく技には「お～！」と拍手が出るほど。また、特別にピザ窯の中の様子も見せてもらい、子どもだけでなく職員も大興奮でした。出来上がったピザをみんなで頬張り、何回もおかわりをして食べていました。自分達で作ったピザの味は、いつも以上に美味しかったのですね。“ピッツァ ゴンゾー”の福倉さん、貴重な体験をありがとうございました。



15日、16日には、天羽高等学校の1年生3名が就労体験に来てくれました。この活動は新型コロナウイルスが流行する前は毎年、行っていたのですが、コロナ禍でしばらく中止となっていました。今年度、しばらくぶりの開催でしたが、子ども達はお兄さんお姉さんにたくさん遊んでもらい、とても嬉しそうでした。学生にとっても、保育士という仕事を身近に感じる機会になったかと思います。これをきっかけに、保育士を目指してくれる学生が増えてくれると嬉しいです。

17日は、高橋市長が保育所訪問で来て下さいました。ちょうど、さざんかの花びらを使った染物をしているところだったのですが、市長もさざんかで染物ができることにびっくりされていました。

保育所でも、玉ねぎの皮を使った染物はやったことがあります。さざんかは初めてで、どうなるのかドキドキでした。さざんかの花びらで煮出した液に、輪ゴムや割りばしで模様をつけた布を入れ、その後、酢水につけると……。あら、不思議。きれいなピンクに染まりました。煮出した液は紫色で、布にも色がついている様子は無く、酢水につけることによる化学反応のようです。

水洗いをするとき淡いピンクになり、子ども達は、発表会の衣装をこの染物で作りました。



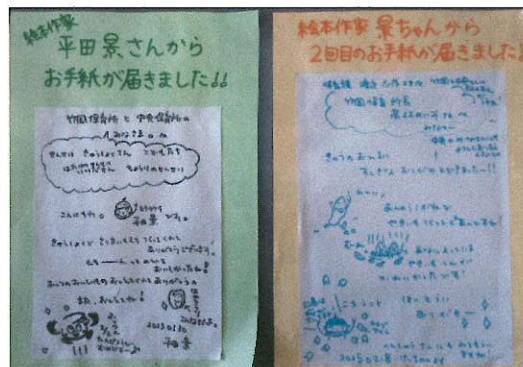
27日は、なんと！竹岡保育所に絵本作家の平田景さんが遊びに来てくれました！！

これは、10月に保育所の体験農園（飯田さんの畑）で掘ったさつまいもを使って、クッキングをしたことがきっかけです。毎年、収穫したさつまいもで、焼き芋やスイートポテト、味噌汁、干し芋、チップスなどを作っています。今年は、ちいさなかがくのととも10月号が『さつまいももちやけたかな』という絵本で、この絵本を見たあくんが「これ、作りたい」と言っていたので、中央保育所のお友達と一緒に作ったところ大好評でした。市役所保育課の管理栄養士に「簡単にできて、おいしい」と伝えたところ、1月の公立保育所のおやつ献立に取り入れてくれました。

この一連の流れを絵本販売店に話したところ、販売店から絵本出版社へ、そしてそこから絵本作家の平田景さんへ・・・と話が伝わり、保育所訪問ということになりました。“さつまいももち”がおやつで提供される日に、神奈川県三浦市からフェリーに乗ってきてくれた平田景さん。子ども達にも私達にも、「けいちゃんって呼んでね」ととても気さくに接して下さい、楽しいひと時を過ごすことができました。当日は、テレビ局や新聞社がたくさん来ていたのですが、子ども達はいつも通り。景ちゃんと中央保育所のお友達と一緒に、さつまいももち作りを楽しみました。

翌日、白孤にお住まいの方が「テレビ見たよ。富津市竹岡って言うからびっくりして・・・でも嬉しかったよ」とわざわざお花を持って、お礼を伝えに来て下さいました。保育所の出来事を、こんなにも喜んで頂けて、こちらもとても嬉しかったです。ありがとうございました。

詳しくは、6ページのドキュメンテーションをご覧ください。



交流会後も、景ちゃんのお手紙のやり取りをしています。また、富津市に遊びに来てくれるかな。

絵本作家さん訪問があった週の金曜日、31日は発表会でした。1週間にこんなに大きなイベントを2つもこなせる子ども達のタフさに、頭が下がります。と同時に、この子達のこれからが楽しみでもあります。

発表会は、子ども達の好きなこと、頑張っていることをおうちの方に見てもらい、最後は一緒に節分の集いを楽しみました。自分の名前を使った言葉遊びや大好きな乗り物の歌、4月から取り組んでいる体操やリズムなど、ちょっと緊張しながらも生き生きと取り組む姿を見てもらいました。もちろん、衣装は自分達で模様をつけてさざんかで染めたTシャツです。職員も一緒に作ったので、まるで家族のようなコーディネートで竹岡らしかったかな？



【2月】

5日に新しくできた富津警察署へ、金谷・中央・佐貫保育所のお友達と一緒に行きました。今回は、いつもの交流保育より人数も多かったのですが、竹岡の子ども達にはそんなことは関係ないようです。出かける度に、成長を感じます。小さい子の面倒を見たり、自分の荷物をきちんと片づけたり、子どもは経験することで身につくことがたくさんあります。できるだけたくさんの経験の機会を持てるよう、これからも工夫していきたいと思います。また、見学に行くにあたり、警察署と繋いで下さった竹岡駐在所の橋本さん、ありがとうございました。



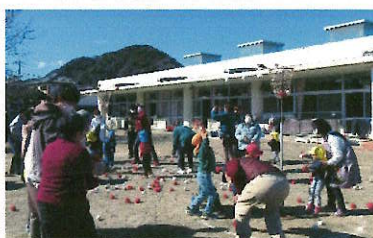
警察繋がりのお話・・・ひろちゃんが数か月前に 100 円を拾って、警察に届けたことがあったそうです。3 か月経過し、持ち主が現れなかったため、ひろちゃんの元に 100 円が届いたのですが、このお金をどうするかママと相談したところ、ひろちゃんが「保育所のみんなと使いたい」と言っていたらしく、ママから保育所に相談がありました。そこで大きいクラスのお友達で相談し、みなでお菓子を買って分けて食べるということになりました。

100 円を持って、三十郎商店へ行った子ども達。店員さんに聞きながら、100 円でお菓子を 3 つ買ってきました。そのお菓子をみんなで大事そうに分け、ニコニコ食べていました。100 円玉 1 つでたくさんの社会勉強ができました。お忙しい中、少しの金額にも関わらず、子ども達の対応をしてくださった三十郎商店さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



6 日は、佐貫にある“社会福祉法人薄光会 あおいそら”の方々との交流会でした。14 名の利用者さんが職員の方と一緒に保育所に来て下さり、玉入れやドッジボール、ダンスなどを楽しみました。そして、“あおいそら cafe”の収益金で保育所にホットプレートを送付してくださいました。

日頃、利用者さんは子ども達と接する機会があまりないようですが、短時間ですっかり打ち解け、帰りにはタッチをして別れました。また、いつもは室内で過ごすことが多い方も、一緒にリレーを楽しんでいたそうで、職員の方が驚かれていました。これも子どもが持っているパワーですね。これからも交流する機会が持てるようにしていきたいと思います。



12 日は、天羽小学校の 6 年生 5 名が交流会で来てくれました。紙芝居を読んだり、鬼ごっこをしたり自分達でプログラムを考え、子ども達を楽しませてくれました。今度は、27 日に年長さんが小学校を訪問して交流を持つことになっています。

13 日は、畑の日。畑の先生の込宮さんと一緒にじゃがいもを植え、飯田さんとはシイタケの植菌をしました。込宮さん、飯田さんが、子ども達のためにいろいろな考えて接して下さい、本当にありがとうございます。私達、職員も教えてもらうことが多く、地域の方に支えていただいている保育所です。



14日は、中央保育所のお友達と『東京ベイサイドGC』に行きました。中央保育所のお友達から「一緒に行きたいから、連れて行って!」と頼まれていたので、子ども達は大張り切り!そして、今回は人数が多いからと、3人の従業員さんが付き添って歩いてくれました。この日は、バレンタインデー♡なんと、ゴルフ場からお菓子のお土産まで頂きました。従業員の皆さんだけでなく、お客さんも子ども達に声をかけて下さり、“こうやって自分の周りには温かい大人がいる”って子ども達が思ってくれるといいなと思います。



17日は保育所に不二家のペコちゃんが遊びに来てくれました。これは、不二家キャラバン隊の事業で、ペコちゃんが子ども達と一緒にクイズやダンスを楽しんで、お土産も頂きました。可愛いけれど、ちょっと大きかったペコちゃん。でも、誰も泣くことなくニコニコでした。



ペコちゃん

翌18日は、1,2歳児も一緒に憧れの“ふつつんバス”に乗ってお出かけでした。行先は、これまた、念願の消防防災センター。乗り物大好きな子ども達にとって、夢のような半日となりました。



そして、消防防災センター見学後は、富津市役所市長室へ。1月に見て頂いたさざんか染めで作ったタペストリーを届けに行きました。昨年度、プレゼントしたネームプレートと一緒に飾ってくださるそうです。



21日は、“久治製パン”の白井さんご夫妻がパン教室のために来てくださいました。もう何年もボランティアでやってくださっています。子ども達は、なんのパンを作ろうか事前に相談していました。今年は、メロンパン、チョココロネ、クリームパンの3種類です。子ども達が「おじさん、これでいいの?」と聞くと「いいよ〜。上手だね〜」と誉めてくださいます。子ども達は周りの大人に誉めて認めてもらうことで、自信をつけていくように思います。白井さん、毎年ありがとうございます。



パク♡

この2 か月は、今まで以上に『人とのご縁』を感じました。今は、人との繋がりが希薄になってきています。持ちつ持たれつ、お互い様の気持ちで、人との繋がりを大事にできる子に育ててほしいと思います。最後までご覧下さり、ありがとうございました。

